

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校 学校番号 26

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導部（教育相談）	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生としてのマナーや規範意識を身に付けさせるための指導を行っている」という評価は、保護者が77%、生徒は95%が評価している。</li> <li>・教育相談体制については、63%の保護者が評価している。</li> <li>・いじめ対応については、保護者49%、生徒82%の評価であるが、生徒の1%保護者の1%は評価しないと回答している。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な生活習慣の確立</li> <li>(2) 悩みを抱える生徒への対応</li> <li>(3) 安全・安心な学校生活の確保</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員による共通理解と協働体制の確立</li> <li>・学年、生徒指導（教育相談）、健康教育（保健室）、保護者、関係機関との連携</li> <li>・自治委員、MS Lリーダーズの活動の活性化</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ビジネスマナーの徹底 登校時の挨拶運動、身だしなみ指導、スマートフォン等の使用の仕方の徹底</li> <li>(2) 悩みを抱える生徒への対応 心のアンケートの実施と教育相談の充実、いじめの早期発見</li> <li>(3) 自治委員・MS L活動による交通安全運動、ヘルメット着用の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 遅刻回数、挨拶の状況、身だしなみ指導違反者の人数、学校生活の様子</li> <li>(2) 教育相談室・保健室への来室件数、いじめの相談・報告件数、カウンセリング件数</li> <li>(3) 交通事故件数、ヘルメット着用率、外部からのクレーム件数</li> </ul>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 身だしなみ指導違反、スマートフォン等の使用違反などについては、反省文や預かり指導をしている。</li> <li>(2) 生徒指導部会で学年、教育相談、保健室からの情報を集約。早期発見と早期対応に努める。</li> <li>(3) 自治委員・MS Lによる交通安全運動や啓発活動の実施。クラスごとの登校時挨拶運動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①反省文やマナー指導件数</li> <li>②身だしなみ指導の結果</li> <li>③いじめの報告件数</li> <li>④カウンセリング状況</li> <li>⑤交通事故件数、ヘルメット着用率</li> </ul>	<p>A <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> C D</p> <p>A <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> C D</p> <p>A B <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span> D</p>
11 成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネスマナーの徹底について意識は向上している。</li> <li>○特別指導はない。</li> <li>○心のアンケートを有効に活用することができた。</li> <li>・▲交通事故件数は、昨年より減少しているがヘルメットの着用率は1%である。（事故件数現在6件、昨年同時期14件）</li> <li>▲教育相談室利用者への組織的な対応の在り方。</li> </ul>	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、落ち着いた学校生活を送ることができている。大商生として目指す生徒像に近づくために、学年・学科・他の分掌との連携を図り啓発をしていく。</li> <li>・ヘルメットの着用率も向上と交通安全に対する意識の高揚を図るため、自治委員会・MS Lを中心とした啓発活動を充実させると同時に、外部講師を活用した講話等を実施していく。</li> <li>・長期欠席者への組織的な対応としては、個別対応会議（仮称）を実施するなど学年会との連携を強化するとともに、保護者との連絡を密にする。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月23日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々なイベントのお手伝いをしていただき、活動に参加する生徒の細かな心遣いや礼儀正しい姿を目にした。日頃からきめ細かく指導をされていることがわかる。</li> <li>・ほっとプレイスの利用は、学年が上がるにつれて、減少するのが理想である。他人に相談することで、自分の考えをまとめられる力をつけてほしい。</li> </ul>
---

